



日本三大山城のひとつ、 『高取城』を未来へつなげる取り組みとは ～奈良県高市郡高取町～

日本の古代史のはじまりとされる、奈良・飛鳥地方に位置する高取町。同町は、日本三大山城の一つ『高取城』でも知られているほか、古墳時代や飛鳥時代に造られた歴史的価値の高い遺跡や古墳も数多く現存している。また、江戸時代には高取藩が置かれていたなど、今なお歴史情緒が色濃く残る町である。

高取城目当てに全国からお城マニアが訪れたり、美しい自然に触れられるハイキングコースがあるなどして人気の高取町だが、より一般の方にも高取城の魅力を知っ

てもらえる方法はないかと「ええR高取町」アプリの制作に着手。

そこで今回は、「ええR高取町」アプリを導入した経緯と、それまでに抱えていた問題点、そして導入後の実績について、高取町総合政策課の岩崎さんとまちづくり課の白木さんにうかがった。

町の魅力の新たな発信の仕方と、地元住民を巻き込んだ官民一体となった町おこしの新たな機運。長年高取町が課題に挙げていた問題点が、アプリ導入により道が拓けたという。





高取町総合政策課
岩崎 純一さん



高取町まちづくり課
白木 文さん

高取城は町のシンボル もっとアピールしたい

— 開発のきっかけを教えてください

岩崎 高取町の恒例行事で、高取城の魅力をPRする「たかとり城まつり」というイベントがあるのですが、それ以外にも町を盛り上げる方法が無いかと悩んでいた時に、アプリ開発者であるユーザックシステム(株)の本岡さんと偶然知り合いました、町のシンボルである高取城をもっとアピールできるためのツールを開発出来ないかとご相談さ

せていただいたのがきっかけです。

— もともと町のPRについてどんな課題を感じておられましたか？

白木 高取町では住民の方々が主導して、三月の町屋の雛めぐりや十月の町屋の案内めぐり、十一月に行われるお城まつりなど積極的にイベントを開催していただいています。おかげ様でどのイベントも盛況で、城好きの方やハイカーの方を中心に毎年一定数の集客がごさいます。

しかし、逆を言うとイベントの時でしか町の事をアピールする機会が無く、通年での集客が長年の課題でした。その他にも、高取町は吉野町と明日香村に挟まれているため通過されることが多く、せっかく日本最大級の山城があるにもかかわらず、その魅力が伝わってないと感じていました。また、お城はもちろんですが、城下に広がる街並みも本当に美しく、城下町の情緒も是非楽しんでもらいたいですし、壺阪寺の桜や紅葉など、まだまだ知られていない

高取町の魅力を町として何か発信できる方法がないかと考えていました。

高取城を3DCGで再現 使いやすさにもこだわる

— アプリを作成していく上でのエピソードなどはございますか？

岩崎 本岡さんはとてもお城が好きで、以前からARアプリの構想を持たれていたそうです。私たちとしても、町のシンボルである高取城を3DCGで再現出来ればより多くの方によりわかりやすく魅力を伝えられるのではないかと想い、内容はすぐに決まりました。

一番のこだわりは、やはりかつての高取城を3DCGで再現したところですね。一般の方に情報として発信するので、古い文献などから情報を読み解き、時には実際に城跡のある山に何度も登り調査を重ねた上で、城の本丸はもちろんな城の裏手にある井戸の位置なども出来る限り忠実に再現しました。大学の教授も太鼓判を押すほどリアルに再現

出来た自信作です。

アプリとセットで作成したパンフレットも非常に精巧な出来で、他社の方ではこまごまのものには出来なかったと思います。それも、専門的な知識を持つユーザックシステム(株)さんだからこそその技で

はないでしょうか。更にご年配の方が使うことも想定して、アプリの使いやすさにもこだわりました。



事前申込み参加料は不要
誰めぐりも開催中

日本三大山城の 大和高取城を巡る ARハイキング

かつての様子を3DCGで再現。
スマホをかざして、
当時に想いを馳せる。

2017.3月12日(日)開催
集合場所:近鉄吉野線 壺阪山駅
受付時間:9時~10時

コース: 壺阪山(高取城跡)を巡りながら見学。
壺阪山駅-壺阪山(高取城跡)の山頂(壺阪山)まで約1.5km(徒歩約40分)

持ち物: スマートフォン(高取城跡を撮影するためのアプリを事前にダウンロード)。
当日は壺阪山の山頂(壺阪山)まで約1.5km(徒歩約40分)の道のりです。当日は壺阪山の山頂(壺阪山)まで約1.5km(徒歩約40分)の道のりです。

参加料: 大人1,000円、小学生500円

高取町観光案内所「夢創館」 TEL. 0744-52-1150
高取町まちづくり課 TEL. 0744-52-3334

主催: 高取町 協力: たかとり観光ボランティアガイドの会

今なお残る高取城の石垣

高取城の魅力が伝わるよう「ARハイキング」が開催された。

多くのメディアに取り上げられる。インバウンド客に対する手ごたえも。

― 反響はいかがですか？

白木 「たかとり城まつり」の開催時期に合わせて、マスコミ向けに発表したのですが、すぐに多くの取材依頼が来ました。NHKや全国規模の新聞社はじめ、多くのメディアでアプリの事を取り上げて頂きました。

特に町外からの反響は大きく、メディアに出た直後は今まで経験したことのない数のお問合せを頂き、しばらくは電話対応で手いっぱいになることもありました。

また海外からのダウンロードも少しずつ伸びてきており、今後のインバウンド客に向けての手ごたえも感じています。

― うれしい悲鳴ですね

白木 はい！リリース以来ダウンロード数も順調に伸びていますし、パンフレットがほしいというお問合せもよく頂いていますので、確実に効果は出ていると思います。アプリを通じて町外の人が高取町

に興味を持って頂ける機会が増えたのは嬉しいですね。

今まではイベントを行っても目玉になるものがなく、なかなか町の魅力や高取城のすばらしさが伝わりにくかったのですが、こうした3DCGやパンフレットなど目に見える形でアピール出来るようになったので、非常にわかりやすくなりましたし、見てもらいやすくなりました。

また今まで町には高取城専用のガイドブックがありませんでしたので、パンフレットを作成したことで、町外のお客様に向けてガイドもしやすくなりました。

アプリを手にした観光客で町がもっとにぎわえば

― 今後のビジョンを教えてください

白木 今は高取城だけに3DCGを導入していますが、今後は城下の土佐街道の街並みにも3DCGでの復元を拡げていきたいですね。アプリを片手に高取町が年中観光客で溢れかえるようになれば最高ですね。そのためにも行政が

住民の方々ともっと協力して、見所マップをどんどんパワーアップしていかないとと思っています。

また、一度訪れたら終わりにならないよう、魅力のある情報をアップしたり町づくりにも力を入れていきたいです。その他、高取城以外にも日本には立派な城跡がたくさんありますので、他の地域とコラボしてARアプリのネットワークを作り、新しいPRの形を生み出していけたら面白いですね。このアプリにはそれだけの可能性やポテンシャルがまだまだあると思っています。

アプリ開発者より

高取城は、まだまだ知名度は低いですが、かつては日本有数の規模を誇る壮大な山城であり、標高五八三・六mの本丸には三層の大手守と小天守が聳え立つというものすごいお城でした。現在は石垣が残るだけですが、ぜひこのアプリを片手に高取城探訪をしていただけだと思います。ユーザックシステム株式会社 本岡 勇一 (二〇一七年九月取材)

- 1 現代に蘇った高取城 (再現CG)
- 2 たかとり城まつりの武者行列
- 3 土佐街並み
- 4 紅葉の時期も美しい



1 2
3 4



